

社会>公民的分野>(3) 私たちと政治>イ 民主政治と政治参加

## 衆議院議員選挙の流れ〔松原市立松原第五中学校〕

⇒参考:ワークシート

### ねらい(つきたい力)

- シミュレーションを通して、実際の選挙へのイメージを持ち、政治に参加する意識を高める
- 選挙公約の比較や当選結果などについて、批判的的思考をもって話し合う

### 取り組みの概要

#### ① 各政党の「選挙公約」を見比べてみよう

- ・ワークシートの「架空の4つの政党の選挙公約」を見て、どの政党のどんな考えに共感できるのか(疑問点、気付いた点)について意見交流する。  
→親しみやすさだけでなく、メリット・デメリット、具体性、必要性など多面的に考えさせたい。

#### ② 小選挙区制～候補者から選ぼう～

- ・ワークシートの「自分の選挙区(班)の候補者」から、投票により1名を選出する。(2選挙区)  
→本物に似た「投票用紙」に候補者名を記入・投票させ、現実に近い雰囲気味わわせたい。

#### ③ 比例代表制～政党から選ぼう～

- ・ワークシートの「比例代表名簿」から、応援したい政党を選んで投票する。
- ・「ドント方式」により議席を分配し、「当選順位名簿」にあてて、当選者を確定させる。(7名)  
→重複候補があることに気付かせ、その意味について考えさせたい。

#### ④ 各政党の当選者数を見てみよう

- ・当選者一覧を作成し、各政党の当選者数を確認する。  
→どの党が第1党となり、過半数を超えたかどうか、そのことでどうなるのか考えさせたい。

★発展★ 何を基準に投票したか、結果についてどう考えるかについて、議論する。

### 工夫など

- 政党名や候補者名は親しみやすいものを、選挙の手続きにはリアリティのあるものを使い分け、政治を身近に感じさせるとともに、近い将来の現実としてとらえさせる。

### 授業を終えて

- 批判的的思考を持ちながら投票を疑似体験することで、生徒たちは将来自分が選挙権を持った時、責任を持って一票を投じたいという意識を持つことができた。